

みなさんこんにちは (^\_^) /

気がつけば本年も残すところ 31 日。「師走」を迎えました。「師走」の諸説については、丁度一年前の第 470 号【もうお決まりですか?】(平成 27 年 12 月 3 日付配信)の冒頭で記載させていただきました。あれからもう一年たったのだなと改めて思う反面、この一年間で読者の皆様方にどれだけ有益な情報をお伝えすることができただろうかと自問しております。

さて、今日は表題の「夜尿症」について話題にしたいと思います。わたくしは子どもが生まれる前まで「おねしょ」は年齢が上がれば自然に治るものと勘違いしており、「夜尿症」という症状について全く無知でした。日本夜尿症学会前理事長・関西医科大学小児科学教室主任教授の金子 一成(かねこ かずなり)教授によれば、「日本における夜尿症患者は 78 万人に上り、医療機関受診者数は 16 万人、その内治療を受けた数は 4 万人程度にとどまると推計されている」とのことです。夜寝ている間に無意識に排尿してしまうという点では同じですが、最も大きな違いは年齢です。

「おねしょ」

赤ちゃんの頃から 5 歳までの夜尿

「夜尿症」

5 歳～6 歳(小学校入学前後)以後の夜尿

となります。

親とすれば、我が子がいつまでも夜尿をしてしまう姿を見ると、「自分の育て方が悪かったのではないか」と自分を強く責めてしまいがちですが、金子教授によれば、「夜尿症は、育て方やトイレトレーニングとはほぼ無関係」とのことです。ですから御自身を責める必要は全くありません。それよりも我が子の夜尿が早く治るよう積極的に治療することをお勧めします。

「夜尿症」を放置する弊害としては

- ①子どもの自尊心の低下から生じる内向的な性格の形成に結びつく可能性
- ②宿泊を伴う学校行事への不参加からくるいじめや不登校に関係する可能性
- ③母親のストレス増による、母子関係の悪化の可能性

が挙げられます。治療介入を行った場合は半数が 1 年以内に治るとされています。生命に関わる疾患ではないものの、親以上にお子さんも「なぜ自分だけ」と悩んでいる子もいるのではないかと思います。その悩みを少しでも早く解消してあげることが、お子さんの良好な精神発達に大きな影響を与えるのではないのでしょうか。【M】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^\_^))

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」  
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

#### 【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」  
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

#### 【紹介からの登録手順】

アドレス [kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp) をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝えていただく。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^\_^)/

\*\*\*\*\*

#### 【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索